

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	グローバル選抜探究	国語	国語1・国語2	4（うち書写1）
教科書・教材				
教科書：『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習1』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。	
① 知識・技能の習得と活用 語彙・文法・漢字・表現技法を習得し、読解や記述に生かす。	
② 思考力・判断力・表現力の育成 文章の内容や構成を捉え、根拠をもとに考えをまとめ、筋道立てて表現する。	
③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ） 対話や意見交流を通して考えを広げ、多文化共生への理解と他者を尊重する姿勢を育てる。	
④ 個別最適化学習の推進 EdTech教材を活用し、理解度に応じた予習・復習で基礎の定着を図る。	
⑤ 言語活動・書写の充実 要約・発表・記述と書写を通して正確に読み取り、整えて書き、分かりやすく伝える力を養う。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	国語1 小説：心情や行動に着目し、場面の展開に沿って心情の変化を読み取る。説明文：段落の役割や比較に着目し、筆者の主張を読み取る。 国語2 口語文法：言葉の単位と文節の働きを理解する。トモリンクス演習・模試対策 書写 ：楷書「氏名」「基本点画」
	国語1 説明文：段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。読書活動の充実を図る。 国語2 口語文法：文の組み立て、トモリンクス演習・模試対策 書写 ：楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り
2 学期	国語1 詩：詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文：段落の役割や比喩表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。 国語2 口語文法：単語の種類、トモリンクス演習・模試対策 書写 ：行書「氏名」行書「基本点画」行書「大木」
	国語1 小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文：筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典：古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。 国語2 口語文法：主語になる単語、トモリンクス演習・模試対策 書写 ：行書「栄光」、「平和」、書初
3 学期	国語1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学1年生学習事項を復習する。
	国語2 口語文法：述語単語、トモリンクス演習、模試演習問題 書写 ：『硬筆練習帳』
評価方法	
評価は、定期考査・書写（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的な知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。	
備考	
ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めるとともに、考えを整理し表現する力を高める。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。	

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学1年	未来探究	国語	国語	4（うち書写1）
教科書・教材				
教科書：『国語1』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習1』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。

① 知識・技能の習得と活用

語彙・文法・漢字・表現技法を習得し、読解や記述に生かす。

② 思考力・判断力・表現力の育成

文章の内容や構成を捉え、根拠をもとに考えをまとめ、筋道立てて表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、多文化共生への理解と他者を尊重する姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習の推進

EdTech教材を活用し、理解度に応じた予習・復習で基礎の定着を図る。

⑤ 言語活動・書写の充実

要約・発表・記述と書写を通して正確に読み取り、整えて書き、分かりやすく伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	国語1 小説：心情や行動に着目し、場面の展開に沿って心情の変化を読み取る。説明文：段落の役割や比較に着目し、筆者の主張を読み取る。国語2 口語文法：言葉の単位と文節の働きを理解する。トモリンクス演習・模試対策 書写：楷書「氏名」「基本点画」
	国語1 説明文：段落の役割に注意して読み、筆者の主張と事例の関係を読み取る。読書活動の充実を図る。国語2 口語文法：文の組み立て、トモリンクス演習・模試対策 書写：楷書「天」「地」、二字書き「天地」、暑中見舞いの書式、和綴じ作品集作り
2 学期	国語1 詩：詩の言葉を読み味わい、語感を磨き、情景を想像して読み取る。説明文：段落の役割や比喻表現に注意して読み、筆者の主張を正確に読み取る。小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。国語2 口語文法：単語の種類、トモリンクス演習・模試対策 書写：行書「氏名」「基本点画」「大木」
	国語1 小説：登場人物の行動や心情の変化を読み取り、自分の考えを広げる。説明文：筆者の主張と根拠の関係をつかみ、読み取る。古典：古典学習の基本について学び、歴史的背景にも考えを深める。国語2 口語文法：主語になる単語、トモリンクス演習・模試対策 書写：行書「栄光」、「平和」、書初
3 学期	国語1 文学的な文章と説明的な文章を読むための中学1年生学習事項を復習する。
	国語2 口語文法：述語単語、トモリンクス演習、模試演習問題 書写：『硬筆練習帳』

評価方法

評価は、定期考査・書写（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考 ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを広げる。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	グローバル選抜探究	国語	国語	4
教科書・教材				
教科書：『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習2』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。

① 知識・技能の習得と活用

語彙・文法・漢字・表現技法を発展的に習得し、読解や記述に活用する。

② 思考力・判断力・表現力の育成

文章の構成や展開を捉え、根拠を明確にして考えを整理し、論理的に表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して多様な考えを比較・検討し、多文化共生理解と他者尊重の姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習の推進

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で基礎の定着と応用力の伸長を図る。

⑤ 言語活動・書写の充実

要約・発表・記述と書写を通して、内容を整理し、正確で分かりやすく伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。 古文：作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。トモリンクス演習・模試対策
	説明文：文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書活動の充実を図る。 言語活動：1年次の文法復習、トモリンクス演習・模試対策 書写：『硬筆練習帳』、
2学期	随筆：さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。 短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。トモリンクス演習・模試対策
	随筆：筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 説明文：適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。 古典：古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。 言語活動：修飾語・接続語・独立語 トモリンクス演習・模試対策 書写：書初指導
3学期	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。 書写：『硬筆練習帳』 言語活動：付属語になる単語 短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。トモリンクス演習・模試対策

評価方法

評価は、定期考査・書写（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めるとともに、考えを整理し表現する力を高める。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学2年	未来探究	国語	国語	4
教科書・教材				
教科書：『国語2』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習2』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。

① 知識・技能の習得と活用

語彙・文法・漢字・表現技法を発展的に習得し、読解や記述に活用する。

② 思考力・判断力・表現力の育成

文章の構成や展開を捉え、根拠を明確にして考えを整理し、論理的に表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して多様な考えを比較・検討し、多文化共生理解と他者尊重の姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習の推進

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で基礎の定着と応用力の伸長を図る。

⑤ 言語活動・書写の充実

要約・発表・記述と書写を通して、内容を整理し、正確で分かりやすく伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の考え方を読み取る。 古文：作者のものの見方や感じ方に触れ、読み味わう。トモリンクス演習・模試対策
	説明文：文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、理解を深める。 読書活動の充実を図る。 言語活動：1年次の文法復習、トモリンクス演習・模試対策 書写：『硬筆練習帳』
2学期	随筆：さまざまな考え方を学び、知識や経験を結びつけて読みを深める。 小説：心情や行動を表す言葉に注意して読み、登場人物の人柄や心情を読み取る。 短歌：語感を磨き、知識や経験を結びつけて読みを深める。トモリンクス演習・模試対策
	随筆：筆者の思いを捉える随筆の味わい方を知り、日常の読書に活かす。 説明文：適切な根拠な在り方について理解し、文章の構成や論理の展開を吟味する。 古典：古典学習の基本について学び、登場人物・筆者の心情にも思いを深める。 言語活動：修飾語・接続語・独立語 トモリンクス演習・模試対策 書写：書初指導
3学期	文学的な文章と説明的な文章、古典を読むための中学2年生学習事項を復習する。 書写：『硬筆練習帳』 言語活動：付属語になる単語、トモリンクス演習。

評価方法

評価は、定期考査（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。
定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを広げる。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	グローバル選抜探究	国語	国語	4
教科書・教材				
教科書：『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習3』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。

① 知識・技能の習得と活用

語彙・文法・漢字・表現技法を総合的に活用し、目的に応じた読解・表現を行う。

② 思考力・判断力・表現力の育成

文章の論理や表現の効果を捉え、根拠をもとに考えを深め、説得力をもって表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを深化させ、多様な価値観を踏まえて自らの考えを再構築する。

④ 個別最適化学習の推進

EdTech教材を活用し、課題に応じた学習で基礎から応用まで定着させる。

⑤ 言語活動・書写の充実

要約・発表・記述と書写を通して、論理的で分かりやすい表現力を高める。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	小説：展開を踏まえて人物像を捉え、生き方について考えを深める。
	漢文：名言に触れ、生き方を自分と関連付けて考える。トモリンクス演習・模試対策
	論説：具体と抽象の関係を捉え、構成や論理の展開を評価する。読書活動の充実を図る。
	俳句：特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。 言語活動：文法学習。トモリンクス演習・模試対策 書写：『硬筆練習帳』
2学期	小説：作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
	論説：情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。トモリンクス演習・模試対策
	古文：詠まれた状況や背景を踏まえ和歌や俳句に親しみ、心情や情景、表現の効果を捉える。
	論説：語句の文脈上の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。問題演習、トモリンクス演習。書写：書初指導
3学期	文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを行う。 問題演習、トモリンクス演習。書写：『硬筆練習帳』

評価方法

評価は、定期考査（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的な知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めるとともに、考えを整理し表現する力を高める。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
中学3年	未来探究	国語	国語	4
教科書・教材				
教科書：『国語3』光村図書、『中学書写』教育出版				
副教材：『よくわかる国語の学習3』明治書院、『硬筆練習帳』教育出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ対話や協働を通して理解を深める。

① 知識・技能の習得と活用

語彙・文法・漢字・表現技法を総合的に活用し、目的に応じた読解・表現を行う。

② 思考力・判断力・表現力の育成

文章の論理や表現の効果を捉え、根拠をもとに考えを深め、説得力をもって表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを深化させ、多様な価値観を踏まえて自らの考えを再構築する。

④ 個別最適化学習の推進

EdTech教材を活用し、課題に応じた学習で基礎から応用まで定着させる。

⑤ 言語活動・書写の充実

要約・発表・記述と書写を通して、論理的で分かりやすい表現力を高める。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	小説：展開を踏まえて人物像を捉え、生き方について考えを深める。
	漢文：名言に触れ、生き方を自分と関連付けて考える。トモリンクス演習・模試対策
	論説：具体と抽象の関係を捉え、構成や論理の展開を評価する。読書活動の充実を図る。
	俳句：特徴について理解を深め、内容や表現のしかたに着目して、読み深める。 言語活動：文法学習。トモリンクス演習・模試対策 書写：『硬筆練習帳』
2学期	小説：作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考える。
	論説：情報の信頼性を確かめながら読み、これからの社会の在り方について自分の意見を持つ。問題演習、トモリンクス演習。
	古文：詠まれた状況や背景を踏まえ和歌や俳句に親しみ、心情や情景、表現の効果を捉える。 論説：語句の文脈上の意味に注意して読み、筆者の考えを捉え、社会や人間について自分の意見をもつ。問題演習、トモリンクス演習。書写：書初指導
3学期	文学的な文章と説明的な文章を読むための基本的な観点を復習し、中学の総仕上げを行う。 問題演習、トモリンクス演習。 書写：『硬筆練習帳』

評価方法

評価は、定期考査（70%）と小テスト・課題・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、基礎的な知識の定着に加え、文章の内容や構成を捉え根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的な知識を踏まえつつ思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを広げる。到達度に応じてトモリンクスによる個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
教科書：『新編現代の国語』数研出版				
副教材：『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙・文法・表現技法を体系的に身につけ、文章の構造や論理を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張や意図を捉え、根拠に基づいて考察し、論理的に表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して考えを深め、多様な価値観に触れながら学びを広げる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた予習・復習で到達度差を補い、基礎から応用へ力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・意見文・発表を通して、論理的に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	指示語や接続語に着目して文章のつながりを捉え、要旨を的確に把握する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	対比などの構造に注目し、文章全体の構成を捉えて内容を整理する力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策
2 学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、論理の流れを理解する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	キーワードや論理の展開に着目し、筆者の主張を的確に捉える力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策
3 学期	文章の内容を踏まえて自分の考えを整理し、根拠をもとに具体的に表現する力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備 考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
教科書：『新編現代の国語』数研出版				
副教材：『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙・文法・表現技法を体系的に身につけ、文章の構造や論理を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張や意図を捉え、根拠に基づいて考察し、論理的に表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して考えを深め、多様な価値観に触れながら学びを広げる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた予習・復習で到達度差を補い、基礎から応用へ力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・意見文・発表を通して、論理的に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	指示語や接続語に着目して文章のつながりを捉え、要旨を的確に把握する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	対比などの構造に注目し、文章全体の構成を捉えて内容を整理する力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策
2 学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、論理の流れを理解する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	キーワードや論理の展開に着目し、筆者の主張を的確に捉える力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策
3 学期	文章の内容を踏まえて自分の考えを整理し、根拠をもとに具体的に表現する力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策

評価方法

評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備 考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	現代の国語	2
教科書・教材				
教科書：『新編現代の国語』数研出版				
副教材：『新編現代の国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙・文法・表現技法の基礎を身につけ、文章を正確に読み取る。

② 思考力・判断力・表現力等

内容や構成を捉え、根拠をもとに考え、分かりやすく表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、多様な価値観に触れながら学びに向かう姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら、理解度に応じた学習で確実な定着を図る。

⑤ 言語活動

要約・記述・発表を通して、伝える力の基礎を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	指示語や接続語に着目して文章のつながりを捉え、内容を理解する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	対比などの基本的な構造に注目し、文章の流れを捉える。 スタディーサプリによる演習・模試対策
2 学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、内容を整理する。 スタディーサプリによる演習・模試対策
	キーワードに着目し、筆者の考えを捉える。 スタディーサプリによる演習・模試対策
3 学期	文章の内容を踏まえて自分の考えをまとめ、分かりやすく表現する力を養う。 スタディーサプリによる演習・模試対策

評価方法

評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	グローバル選抜探究	国語	言語文化	2
教科書・教材				
教科書：『新編言語文化』数研出版				
副教材：『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、我が国の言語文化への理解を深め、古典や現代の文章を的確に読み取り、考えを深めて表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

古典の基礎知識や語彙・表現を身につけ、我が国の言語文化への理解を深める。

② 思考力・判断力・表現力等

作品の背景や表現の特色を捉え、解釈を深め、根拠に基づいて考察し表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な価値観に触れ、文化の違いや共通点を踏まえて学びを広げる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で古典の基礎から応用まで力を伸ばす。

⑤ 言語活動

音読・要約・発表を通して、内容を整理し、的確に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	近現代文：場面や描写に着目し、人物の心情や関係の変化を読み取る。
	古典：歴史的仮名遣いや語句を理解し、内容を捉えるとともに、当時のものの見方や感じ方を理解する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	近現代文：文章の構成や表現に着目し、内容を的確に読み取る。 古典：文法や語句の理解を深め、内容を踏まえて作品を味わう。 読書活動の充実を図り、校内ビブリオバトルの原稿作成に取り組む。 スタディーサプリによる演習・模試対策。
	近現代文：描写や表現の工夫を捉え、主題について考えを深める。 古典：構造や表現に着目し、人物の心情や場面の展開を捉える。 スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	近現代文：複数の視点から内容を捉え、自分の考えを整理する。
	古典：基礎事項を活用しながら文章を読み、言語文化への理解を深める。 スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選抜	国語	言語文化	2
教科書・教材				
教科書：『新編言語文化』数研出版				
副教材：『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、我が国の言語文化への理解を深め、古典や現代の文章を的確に読み取り、考えを深めて表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

古典の基礎知識や語彙・表現を身につけ、我が国の言語文化への理解を深める。

② 思考力・判断力・表現力等

作品の背景や表現の特色を捉え、解釈を深め、根拠に基づいて考察し表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な価値観に触れ、文化の違いや共通点を踏まえて学びを広げる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で古典の基礎から応用まで力を伸ばす。

⑤ 言語活動

音読・要約・発表を通して、内容を整理し、的確に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	近現代文：場面や描写に着目し、人物の心情や関係の変化を読み取る。
	古典：歴史的仮名遣いや語句を理解し、内容を捉えるとともに、当時のものの見方や感じ方を理解する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	近現代文：文章の構成や表現に着目し、内容を的確に読み取る。 古典：文法や語句の理解を深め、内容を踏まえて作品を味わう。 読書活動の充実を図り、校内ビブリオバトルの原稿作成に取り組む。 スタディーサプリによる演習・模試対策。
	近現代文：描写や表現の工夫を捉え、主題について考えを深める。 古典：構造や表現に着目し、人物の心情や場面の展開を捉える。 スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	近現代文：複数の視点から内容を捉え、自分の考えを整理する。
	古典：基礎事項を活用しながら文章を読み、言語文化への理解を深める。 スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	未来探究	国語	言語文化	2
教科書・教材				
教科書：『新編言語文化』数研出版				
副教材：『新編言語文化 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、我が国の言語文化への理解を深め、古典や現代の文章を読み取り、考えを表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。</p> <p>① 知識及び技能 古典の基礎知識や語彙を身につけ、内容を理解する。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等 作品の内容や背景を捉え、考えたことを分かりやすく表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ） 対話や意見交流を通して考えを広げ、文化への関心を高める。</p> <p>④ 個別最適化学習（EdTech） EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら学習の定着を図る。</p> <p>⑤ 言語活動 音読・要約・記述を通して、内容を整理し伝える力の基礎を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>近現代文：場面や描写に着目し、人物の心情を読み取る。 スタディーサプリによる演習・模試対策。</p> <p>古典：歴史的仮名遣いや語句の基礎を学び、内容を理解する。 スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
2学期	<p>近現代文：文章の構成に着目し、内容を捉える。 古典：基本的な文法や語句を理解し、内容を読み取る。 読書活動の充実を図り、校内ビブリオバトルの原稿作成に取り組む。 スタディーサプリによる演習・模試対策。</p> <p>近現代文：描写に着目し、内容や主題を捉える。 古典：文章の流れを捉え、場面や人物の様子を理解する。 スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
3学期	<p>近現代文：内容を整理し、自分の考えをまとめる。 古典：基礎事項をもとに文章を読み、言語文化への関心を高める。 スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
評価方法	
<p>評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。 定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。 出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。</p>	

備考
<p>ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う</p>

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校1年	選択	芸術	書道 I	2
教科書・教材				
『書 I』 教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の幅広い活動を通し、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	「楷書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。 「団扇」「短冊」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。
2 学期	「行書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆技能を活かし表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。
3 学期	「仮名」書道史から漢字と仮名の関係と日本独自の仮名の成立を理解し、日本の古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「仮名漢字交じり」「カレンダー」用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。
評価方法	
「古典臨書作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。	

備 考

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
教科書：『精選論理国語』数研出版				
副教材：『精選論理国語準拠ノート』数研出版／『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を的確に理解し、根拠に基づいて考えを深め、論理的に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙・論理表現を身につけ、文章の構造や論理の展開を的確に捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張と根拠の関係を捉え、内容を批判的に検討し、自分の考えを論理的に構成して表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な考えを比較・検討し、理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら、読解力と表現力を高める。

⑤ 言語活動

要約・論述・発表を通して、論理的に整理し、説得力をもって伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	指示語・接続語や段落構成に着目し、文章の要旨を的確に把握する。あわせて、要約を通して内容を整理する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	対比や因果関係などの構造に注目し、論理の展開を捉えて内容を整理する。短い論述に取り組み、自分の考えを表現する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2 学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、論理の流れを理解する。演習を通して読解の精度を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と根拠の関係を捉え、内容を批判的に検討する。一定の分量の論述に取り組み、論理的に表現する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3 学期	複数の情報を整理・関連付け、自分の考えを論理的に構成して表現する。総合的な論述に取り組み、表現力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	論理国語	3
教科書・教材				
教科書：『精選論理国語』数研出版 副教材：『精選論理国語準拠ノート』数研出版／『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を的確に理解し、根拠に基づいて考えを深め、論理的に表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙・論理表現を身につけ、文章の構造や論理の展開を的確に捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張と根拠の関係を捉え、内容を批判的に検討し、自分の考えを論理的に構成して表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な考えを比較・検討し、理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら、読解力と表現力を高める。

⑤ 言語活動

要約・論述・発表を通して、論理的に整理し、説得力をもって伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	指示語・接続語や段落構成に着目し、文章の要旨を的確に把握する。あわせて、要約を通して内容を整理する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	対比や因果関係などの構造に注目し、論理の展開を捉えて内容を整理する。短い論述に取り組み、自分の考えを表現する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2 学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、論理の流れを理解する。演習を通して読解の精度を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と根拠の関係を捉え、内容を批判的に検討する。一定の分量の論述に取り組み、論理的に表現する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3 学期	複数の情報を整理・関連付け、自分の考えを論理的に構成して表現する。総合的な論述に取り組み、表現力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
教科書：『論理国語』数研出版、『論理国語 準拠ワーク』数研出版 副教材：『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を理解し、根拠をもとに考え、分かりやすく表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や基本的な論理表現を身につけ、文章の構成を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張と理由の関係を捉え、内容を整理し、自分の考えを筋道立てて表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、学びに向かう姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら段階的に力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・記述・発表を通して、内容を整理し伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	指示語や接続語に着目し、文章の内容を理解する。要約を通して内容を整理する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	対比や因果関係などの基本的な構造を捉え、内容を整理する。短い記述に取り組む。
2学期	具体と抽象の関係を捉えながら文章を読み、内容を整理する。演習を通して読解の定着を図る。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と理由の関係を捉え、筆者の考えを理解する。段階的な記述に取り組む。
3学期	内容を踏まえて自分の考えをまとめ、分かりやすく表現する。基礎的な論述に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	グローバル選抜探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を的確に理解し、表現の特色や効果を捉え、多様な解釈を通して考えを深め表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や表現技法を身につけ、文学作品の構成や描写、表現の特色を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

人物・情景・主題を多面的に捉え、根拠に基づいて解釈を深め、自分の考えを表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な読みを比較し、理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら読解力を高める。

⑤ 言語活動

要約・鑑賞文・発表を通して、解釈や感じたことについて根拠をもって伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情や関係の変化を捉える。要約を通して内容を整理し、読みを深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	表現の工夫や構成に注目し、作品の主題を捉える。根拠をもとに考えをまとめ、表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の作品を関連付けて読み、共通点や相違点を整理し、解釈を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	作品の内容や表現を踏まえ、多面的に捉えながら考えをまとめる。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	これまでの学習内容を整理し、作品の読みをまとめて表現する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選抜	国語	文学国語	3
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を的確に理解し、表現の特色や効果を捉え、多様な解釈を通して考えを深め表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や表現技法を身につけ、文学作品の構成や描写、表現の特色を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

人物・情景・主題を多面的に捉え、根拠に基づいて解釈を深め、自分の考えを表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な読みを比較し、理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら読解力を高める。

⑤ 言語活動

要約・鑑賞文・発表を通して、解釈や感じたことについて根拠をもって伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情や関係の変化を捉える。要約を通して内容を整理し、読みを深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	表現の工夫や構成に注目し、作品の主題を捉える。根拠をもとに考えをまとめ、表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の作品を関連付けて読み、共通点や相違点を整理し、解釈を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	作品の内容や表現を踏まえ、多面的に捉えながら考えをまとめる。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	これまでの学習内容を整理し、作品の読みをまとめて表現する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	未来探究	国語	文学国語	3
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を理解し、表現の工夫に気づき、考えを表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や表現の基礎を身につけ、作品の内容や構成、表現の特色を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

人物や場面を捉え、感じたことや考えを分かりやすく表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、読みへの関心を高める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら段階的に読解力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・記述・発表を通して、内容を整理し伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情を捉える。要約を通して内容を整理する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	表現の工夫に注目し、作品の内容や主題を捉える。考えをまとめる活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の作品を読み比べ、内容を整理し理解を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	作品の内容を踏まえて、考えを整理しまとめる。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	これまでの内容を振り返り、作品の読みを整理する力を養う。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択X	国語	古典探究	2
教科書・教材				
教科書：『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版 副教材：『古典探究準拠ノート』数研出版『古文単語315』桐原書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、古典を正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するとともに、読解力の向上を図り、実力の定着につなげる。

① 知識及び技能

古文の語彙や文法、表現の特徴を身につけ、作品の構造や主題、時代背景を踏まえて内容を的確に読み取る力を養う。

② 思考力・判断力・表現力等

作品の内容や表現について考察を深め、根拠に基づいて自分の考えを整理し、論理的に表現する力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	古文：説話・歌物語 用言・助動詞・係り結び等の文法事項を理解する。和歌の修辞法を理解する。 漢文：故事 漢文の語順を理解する。
	古文：随筆・物語 敬語について理解。宮廷生活や当時の習慣等の背景知識を身につける。 漢文：史伝 句法について理解する。
2学期	古文：歴史物語・軍記物語 文法事項の確認、宮廷生活や当時の習慣等についての背景知識を深める。 諸子百家について理解する。
	古文：日記文学・物語 和歌の修辞法や常識を理解する。 漢文：漢詩 漢詩に関する知識を身につける。
3学期	古文：和歌・歌論・俳諧 漢文：文章 道家思想とその影響を受けた作人に触れる。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

--

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択X	国語	探究演習・表現	2
教科書・教材				
適宜プリント等を配布				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>・言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する。</p> <p>①知識及び技能 課題を設定し、必要な情報を収集・整理する能力を養う。文献を適切に解釈し、表現技法を学びながら、自分の考えを論理的に組み立てる力を高める。</p> <p>②思考力・判断力・表現力等 テーマに対して考察を深め、自分の意見を整理して論理的に伝える能力を養う。ディスカッションや作文を通じて、表現力を高め、考えをわかりやすく伝える力を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	原稿用紙の使い方・具体的に書く・内容に注意して書く 複数の立場から考える・課題作文・小論文の書き方を学ぶ 文章の要点を把握して意見を定める・課題文型小論文を書く 資料を分析して問題点を考える
2学期	データ型小論文を書く・メディアを駆使する ショートスピーチをする・建設的な議論を行う 面接練習をする
3学期	自己分析・他己分析をする 自己PR文・志望理由書を書く
評価方法	
授業内に提出する小論文（70%）、国語の基礎知識を問う小テスト、授業に取り組む姿勢など（30%）により評価する。定期考査は実施しない。	

備考

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校2年	選択	芸術	書道Ⅱ	2
教科書・教材				
『書Ⅱ』教育図書 『楷書の手ほどき』教育図書 『手本蘭亭序』教育図書 『硬筆レッスン』教育図書				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせて、生活や社会の中の文字書、書の伝統文化と深く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	「隸書」「篆書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、最古の漢字甲骨文や金文を現代の用具筆で表現する技能を身に付ける。 「創作」楷・行・隸・篆の四体の用筆・運筆の技能を活かし表現力を身に付ける。
2学期	「行書」「草書」書道史から文字の成立と変遷を理解し、中国と日本の古典の名筆から用筆・運筆の技術を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆の技能を活かし、表現力を身に付ける。 「年賀状」日常生活と書の文化との関わりを通して、心豊かな創造力を身に付ける。
3学期	「仮名」日本の古典の名筆から、用筆・運筆の技能と、散らし書きや墨継ぎによる優美な書表現を身に付ける。 「日常書」「熨斗」の種類と用途を知り、書と日常生活の関わりを学び、学習の成果を生活に活かす力を身に付ける。
評価方法	
「古典臨書作品」「創作作品」「日常書」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。 作品70%、平常点30%。	

備考

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
教科書：『精選論理国語』数研出版				
副教材：『精選論理国語準拠ノート』数研出版／『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を的確に理解し、根拠に基づいて考えを深め、説得力をもって表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や論理表現を活用し、文章の構造や論理の展開を正確に捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

複数の文章を関連付けて読み、主張と根拠を捉え、自分の考えを論理的にまとめて表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な考えに触れ、自らの考えを深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら、読解力と表現力を高める。

⑤ 言語活動

要約・論述・発表を通して、情報を整理し、論理的に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	文章の要旨や論理構造を確認し、複数の文章を比較しながら内容を整理する。要約を通して情報を的確にまとめる力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	異なる立場の文章を読み比べ、主張や根拠の違いを整理する。自分の考えを論理的に表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の資料やデータをもとに内容を整理し、課題に対して自分の立場を明確にする。演習を通して判断力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と根拠を整理し、自分の考えを論理的に構成して表現する。
3学期	これまでの学習内容を整理し、要点をまとめるとともに、簡潔に考えを表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス（国語科）

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	論理国語	2
教科書・教材				
教科書：『精選論理国語』数研出版				
副教材：『精選論理国語準拠ノート』数研出版／『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を的確に理解し、根拠に基づいて考えを深め、説得力をもって表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や論理表現を活用し、文章の構造や論理の展開を正確に捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

複数の文章を関連付けて読み、主張と根拠を捉え、自分の考えを論理的にまとめて表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な考えに触れ、自らの考えを深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら、読解力と表現力を高める。

⑤ 言語活動

要約・論述・発表を通して、情報を整理し、論理的に伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	文章の要旨や論理構造を確認し、複数の文章を比較しながら内容を整理する。要約を通して情報を的確にまとめる力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	異なる立場の文章を読み比べ、主張や根拠の違いを整理する。自分の考えを論理的に表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2 学期	複数の資料やデータをもとに内容を整理し、課題に対して自分の立場を明確にする。演習を通して判断力を高める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と根拠を整理し、自分の考えを論理的に構成して表現する。
3 学期	これまでの学習内容を整理し、要点をまとめるとともに、簡潔に考えを表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	論理国語	2
教科書・教材				
教科書：『論理国語』数研出版				
副教材：『論理国語準拠ノート』数研出版／『キーワード漢字2700』浜島書店				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、論理的な文章を理解し、根拠をもとに考えをまとめ、分かりやすく表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や基本的な論理表現を活用し、文章の構成を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

主張と理由の関係を捉え、内容を整理し、自分の考えを筋道立てて表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、学びに向かう姿勢を育てる。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら段階的に力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・記述・発表を通して、内容を整理し伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	文章の要旨や構成を捉え、内容を整理する。要約を通して理解を深める。 スタディーサプリによる演習・模試対策。
	主張と理由の関係を捉え、複数の文章を比較しながら内容を理解する。考えを分かりやすく表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	資料や文章をもとに内容を整理し、自分の考えをまとめる。演習を通して理解の定着を図る。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	内容を踏まえて自分の考えを筋道立てて表現する。
3学期	読み応えのある評論で筆者の思索の深化をたどるとともに、他の資料と比較する。 これまでの内容を振り返り、要点を整理するとともに、分かりやすく表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	グローバル選抜探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）	
<p>言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を的確に理解し、表現の特色や効果を捉え、考えを深めて表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。</p> <p>① 知識及び技能 語彙や表現技法を活用し、作品の構成や描写、表現の特色を捉える。</p> <p>② 思考力・判断力・表現力等 人物・情景・主題を多面的に捉え、根拠をもとに考えを深め、自分の読みをもって表現する。</p> <p>③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ） 対話や協働を通して多様な読みを共有し、相互理解を深める。</p> <p>④ 個別最適化学習（EdTech） EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら読解力を高める。</p> <p>⑤ 言語活動 要約・鑑賞文・発表を通して、考えや感じたことを根拠をもって伝える力を養う。</p>	
授業の進め方（年間指導計画）	
1学期	<p>場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情や関係の変化を捉える。要約を通して内容を整理する。スタディーサプリによる演習・模試対策。</p> <p>表現の工夫や構成に注目し、作品の主題を捉える。根拠をもとに考えをまとめ、表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
2学期	<p>複数の作品を関連付けて読み、共通点や相違点を整理しながら解釈を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。</p> <p>作品の内容や表現を踏まえ、自分の読みを根拠に基づいてまとめ、表現する。スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
3学期	<p>これまでの学習内容を整理し、作品の読みを簡潔にまとめるとともに、表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。</p>
評価方法	
<p>評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。</p>	

備考
<p>ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。</p>

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選抜	国語	文学国語	2
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を的確に理解し、表現の特色や効果を捉え、考えを深めて表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や表現技法を活用し、作品の構成や描写、表現の特色を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

人物・情景・主題を多面的に捉え、根拠をもとに考えを深め、自分の読みをもって表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や協働を通して多様な読みを共有し、相互理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、理解度に応じた学習で到達度差を補いながら読解力を高める。

⑤ 言語活動

要約・鑑賞文・発表を通して、考えや感じたことを根拠をもって伝える力を養う。

1学期	場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情や関係の変化を捉える。要約を通して内容を整理する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	表現の工夫や構成に注目し、作品の主題を捉える。根拠をもとに考えをまとめ、表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の作品を関連付けて読み、共通点や相違点を整理しながら解釈を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	作品の内容や表現を踏まえ、自分の読みを根拠に基づいてまとめ、表現する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	これまでの学習内容を整理し、作品の読みを簡潔にまとめるとともに、表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えを比較し、理解を深めるとともに、考えを整理し論理的に表現する力を高める。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	未来探究	国語	文学国語	2
教科書・教材				
教科書：『文学国語』数研出版				
副教材：『文学国語 準拠ワーク』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、文学作品を理解し、表現の工夫に気づき、考えを表現する資質・能力を育成する。あわせて、ラーニングコミュニティを取り入れ、対話と協働を通して多文化共生への理解を深める。

① 知識及び技能

語彙や表現の基礎を活用し、作品の内容や構成を捉える。

② 思考力・判断力・表現力等

人物や場面を捉え、感じたことや考えを分かりやすく表現する。

③ 主体的に学習に取り組む態度（ラーニングコミュニティ）

対話や意見交流を通して考えを広げ、相互理解を深める。

④ 個別最適化学習（EdTech）

EdTech教材を活用し、基礎の理解を補いながら段階的に読解力を伸ばす。

⑤ 言語活動

要約・記述・発表を通して、内容を整理し伝える力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	場面や描写に着目して作品を読み、人物の心情を捉える。要約を通して内容を整理する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	表現の工夫に注目し、作品の内容や主題を捉える。考えをまとめて表現する活動に取り組む。スタディーサプリによる演習・模試対策。
2学期	複数の作品を読み比べ、内容を整理し理解を深める。スタディーサプリによる演習・模試対策。
	作品の内容を踏まえて、自分の考えをまとめて表現する。スタディーサプリによる演習・模試対策。
3学期	これまでの内容を振り返り、作品の読みを整理し、分かりやすく表現する力を確認する。スタディーサプリによる演習・模試対策。

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

ラーニングコミュニティを通して多様な考えに触れ、理解を深めながら考えを整理し表現する力を養う。到達度に応じて個別最適化学習を行う。

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択B	国語	古典探究	2
教科書・教材				
『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、古典を正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するとともに、読解力の向上を図り、実力の定着につなげる。

① 知識及び技能

古文の語彙や文法、表現の特徴を身につけ、作品の構造や主題、時代背景を踏まえて内容を的確に読み取る力を養う。

② 思考力・判断力・表現力等

作品の内容や表現について考察を深め、根拠に基づいて自分の考えを整理し、論理的に表現する力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第1回～第3回 漢文：第1回～第3回 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
	『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第4回～第6回 漢文：4回～第6回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
2学期	『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第7回～第9回 漢文：第7回～第9回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
	『共通テスト対策 古典完答22』 古文：第10回～第11回 漢文：第10回～第11回 適宜プリント教材 随時、演習問題、大学入試過去問題を扱う。
3学期	類似対策問題演習（冬期休暇中課題）

評価方法

評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択D1	国語	国語総合	2
教科書・教材				
『力をつける現代文 2』数研出版				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、現代の文章を正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するとともに、読解力の向上を図り、実力の定着につなげる。

① 知識及び技能

語彙や表現の特徴を身につけ、文章の構造や論理の展開を捉えながら内容を的確に読み取る力を養う。

② 思考力・判断力・表現力等

文章の主張や意図を捉え、根拠に基づいて考えを整理し、論理的に表現する力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問1～7	基礎問題・要約練習
	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問8～14	標準問題・要約演習
2学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問15～21	標準問題・要約演習
	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問22～28	入試問題演習
3学期	問題集『力をつける現代文 2』数研出版	設問22～28	入試問題演習

評価方法

評価は、定期考査（70％）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30％）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

--

シラバス〔国語科〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択E	国語	探究演習 古典	3
教科書・教材				
教科書：『古典探究 古文編』『古典探究 漢文編』数研出版 副教材：『古典探究準拠ノート』数研出版 『古文単語315』桐原書店、『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）				

授業のねらい（年間指導目標）

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、古典を正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成するとともに、読解力の向上を図り、実力の定着につなげる。

① 知識及び技能

古文の語彙や文法、表現の特徴を身につけ、作品の構造や主題、時代背景を踏まえて内容を的確に読み取る力を養う。

② 思考力・判断力・表現力等

作品の内容や表現について考察を深め、根拠に基づいて自分の考えを整理し、論理的に表現する力を養う。

授業の進め方（年間指導計画）

1 学期	古文：随筆・日記 →文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：逸話 →句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
	古文：物語 →文法事項の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：小説 →句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
2 学期	古文：評論 →古典の評論を読み、古典作品の解釈について考えを深める。 漢文：史伝 →句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、背景を身につける。
	古文：説話・近世の随筆等 →文法の総復習をしながら、文学史的な知識等も身につける。 漢文：文章 →句法・用字等の文法的な内容を復習しながら、比べ読みをする。
3 学期	古文：近世の作品 →幅広く古典作品に触れ、知識を深める。 漢文：漢詩 →漢文に影響を受けた日本文学を読む。

評価方法

評価は、定期考査（70%）と、小テスト・課題・発表・授業への取り組み（30%）を総合して行う。定期考査は、知識の定着に加え、文章の論理や意図を捉え、根拠に基づいて考え表現する力を評価する。出題は、基礎的知識を踏まえ、思考力・判断力・表現力をバランスよく測るものとする。

備考

『共通テスト対策 古典完答22』（尚文出版）は課題として取り扱う。

シラバス〔芸術〕

学年	コース	教科	科目	単位数
高校3年	選択	芸術	書道	2
教科書・教材				
使用せず。手書き手本と iPad 書道辞典を使用。				

授業のねらい（年間指導目標）	
書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な文字や書・書の伝統と文化と深く関わる資質・能力を育成する。	
授業の進め方（年間指導計画）	
1 学期	「写経」書道史から中国古典・日本古典の名筆から用筆・運筆の技能を身に付ける。 「創作」「色紙」「短冊」主体的な構想に基づく個性的・創造的な表現力を身に付ける。
2 学期	「楷書」「行書」「草書」漢字の書を構成する様々な要素について理解を深め、書体の特色を活かして創造的に表現する技能を身に付ける。 「創作」学んだ用筆・運筆を活かし、表現力を身に付ける。
3 学期	「年賀状」「カレンダー」日常生活と書の文化との関わりを通して心豊かな創造力を身に付ける。 「色紙」学んだ用筆・運筆を活かし、個性的・創作的な表現力で座右の銘を卒業記念の作品として創作する力を身に付ける。
評価方法	
「写経作品」「創作作品」授業時の「書」に取り組む意欲と姿勢により評価する。作品70%、平常点30%。	

備 考